

# 令和元年度教員研究活動報告書



粟屋 仁美 教授（経営戦略・CSR）

公表された著書・論文等

【共編著書】

令和2年2月『市場とイノベーションの企業論』亀川 雅人, 粟屋 仁美, 北見 幸一 (担当: 共編著者), 範囲: 「はしがき」 pp. i - iii, 「第4章企業の社会性とイノベーション—社会的課題を解決するビジネス創造—」 pp.46-56, 中央経済社.

令和2年2月『亀川雅人先生退職記念本 市場とイノベーションの企業論』亀川雅人先生退職記念出版編集委員 (担当: 編集委員代表), 範囲: 「はしがき」 pp. i - iii, 「第4章企業の社会性とイノベーション—社会的課題を解決するビジネス創造—」 pp.46-56, 中央経済社.

【共著】

令和元年10月『経営学用語ハンドブック』亀川雅人編著, 粟屋仁美他 (担当: 共著) 創成社.

【論文】

令和元年6月「環境ビジネスにみるCSVの障壁—「再生の経営」戦略から考える矛盾と解決策—」『日本マネジメント学会誌 経営教育研究22 (2)』 pp.17-26.

令和元年10月「企業経営における多様性—多様化のコストと責任—」『経営哲学学会』16 (2), pp.65-77.

学会等での活動

【学会賞受賞】

令和元年8月 経営哲学学会賞 (著書部門) 「再生の経営学—自動車静脈産業の資源循環と市場の創造—」 (白桃書房)

【学会活動 統一論題報告】

令和元年8月「広島東洋カーブと「広島」地域の活性化—一個の最適が全体最適になる時—」経営哲学学会 第36回全国大会 (於 立命館大学), 参考 統一論題テーマ「統一論題 セッション1 地

域活性化に向けたイノベーション：民間・自治体・NPOの  
取り組みに直目して」

【学会活動 コメンテーター】

令和元年8月 自由論題報告「企業不祥事・事故遺産を保持する意義と期待  
される役割，課題に関する一考察—JR 西日本・「祈りの杜」  
を題材として—」のコメント 経営行動研究学会第29回全国  
大会（於 和光大学）

---

飯野 由美子 教授（金融）

公表された著書・論文等

令和元年12月「ドイツ経済—EU経済の基軸」第2章，ミネルヴァ書房，  
pp.37-76，藤澤利治／工藤章編著（他の著者：古内博之・田  
中洋子・石塚史樹・栢田大知彦・白川欽哉・近藤潤三）

---

小山 幸伸 教授（日本経済史）

公表された著書・論文等

令和元年12月「社会科教職課程受講生の意識と学修成果」『研究論集』第96  
号，敬愛大学経済学会，pp.3-47.

---

佐々木 英憲 教授（金融）

学会等での活動

証券経済学会に入会

令和元年11月 東北学院大学にて開催の年次会合に参加  
テーマ「フィンテックと証券市場」

---

高木 朋代 教授（人的資源管理）

公表された著書・論文等

- 令和元年5月 「障害者雇用をめぐる企業側の意向と当事者の態度：事業所および個人データを用いた定量分析による検討」社会政策学会2019年度春季大会報告論集』13p. ※学会報告論文
- 令和元年7月 「高年齢者雇用の現在と未来に関する試論：企業の人事管理および国際比較の視点から」『年金と経済』Vol.38, No.2, pp.41-52.
- 令和元年11月 「高年齢者の就業と政策的課題：綻びゆく雇用システム、失われゆく日本企業の強み」『季刊 個人金融』2019年秋号, pp.23-33.

学会等での活動

- 平成31年4月 応用哲学会（於 京都大学）  
報告課題「障害者雇用における雇用機会の分配と労働力均衡」  
※大会ワークショップ「産業社会における共生のメカニズム：障害者の雇用と『働く』ことの意味」研究報告と総括  
〔共同報告者：佐藤邦政（敬愛大学）、高岡英氣（敬愛大学）、渡正（順天堂大学）、清野絵（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）〕
- 令和元年5月 社会政策学会（於 高知県立大学）  
報告課題「障害者雇用をめぐる企業側の意向と当事者の態度：事業所および個人データを用いた定量分析による検討」  
※テーマ別分科会「我が国の障害者雇用政策における効果と課題：2つの調査データを用いた雇用・就業の実態分析」  
コーディネーター・座長と研究報告  
〔共同報告者：山田篤裕（慶應義塾大学）、大津唯（埼玉大学）、荒木宏子（慶應義塾大学）〕
- 令和元年6月 組織学会（於 駒澤大学）  
※セッション司会

令和元年11月 総務省「人材育成等専門家派遣事業」（於 山梨県庁）

講演課題「高年齢職員の活躍」

※地方公務員の人事問題に関する助言と講演

令和元年11月 厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業情報交換会」（於 厚生労働省）

講演課題「地域における高年齢者の就業と生涯現役促進地域連携事業に期待される役割」

※職業安定局によるシンポジウムでの基調講演

#### その他の著作・公表物

平成31年4月～令和2年3月 各種新聞，ニュース，デジタル新聞・ニュース等で，厚生労働省「社会保障審議会年金部会」での議論が紹介された

令和元年8月 Cision News（Swedenのネットニュース）で，日本からの研究者として紹介された

※高年齢者向けの職業紹介会社VeteranKraftへの訪問の様子とコメント記事

令和元年8月 NHK「視点・論点」出演

※「年金改革法案」と「高年齢者雇用安定法等の改正案」が閣議決定に至ったことを受けて、「70歳就業継続 課題と可能性」について解説

#### 学外からの研究助成

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～33年度 代表

---

### 成松 恭平 教授（管理会計・原価計算）

#### 公表された著書・論文等

令和元年6月 「無形資産の会計基準の動向とその財務的影響—経営者の意思決定支援に有用な会計情報に向けて—」『研究論集』第95号，敬愛大学経済学会，pp.31-68.

令和元年12月「ブランド資産の財務的評価方法とその具体的な手続き〜ファンダメンタル・アプローチ〜」『研究論集』第96号，敬愛大学経済学会，pp.73-113.

---

## 根本 敏則 教授（交通経済学，ロジスティクス）

### 公表された著書・論文等

- 平成30年6月 根本敏則，林克彦，石原伸志，齋藤実，橋本雅隆，宮武宏輔，須藤貞明「ASEANにおける貿易自由化と自動車サプライチェーンの深化」日本物流学会誌，第26号，pp.57-64.
- 平成30年6月 宮武宏輔，根本敏則，林克彦，石原伸志「中国向け越境ネット通販支援モデルの特性に関する考察」日本物流学会誌，第26号，pp.49-56.
- 平成30年6月 Shigeki OZAWA, Tony WHITEING, Cris NASH & Toshinori NEMOTO「A Study on Fair Competition Inhibition in UK Rail Freight Terminal」日本物流学会誌，第26号，pp.41-48.

### 【著書】

- 令和元年12月 中国語版『現代交通問題 考』第6章（衛藤卓也監修，根本敏則，後藤孝夫，大井尚司編著，人民交通出版社，共著），pp.59-67.

### 【論文】

- 令和元年6月「中国におけるECプラットフォームの物流革新」日本物流学会誌，第27号，pp.187-194，共著：林克彦，根本敏則，石原伸志，齋藤実，橋本雅隆，宮武宏輔，楊絮，須藤貞明，畢叶露
- 令和元年10月「道路損傷を考慮した高速道路料金」運輸と経済，第79巻第10号，pp.11-14.
- 令和2年3月「都市内道路混雑対策としてのロードプライシング」都市問題 第111号，味水佑毅，根本敏則，pp.70-80.

## 学会等での活動

- 令和元年8月「道路損傷を考慮した高速道路料金」社会資本整備審議会、  
道路分科会、基本政策部会、霞が関
- 令和元年9月「ドローン物流の現状と期待されるビジネスモデル」招待講  
演、大分県ドローン物流検討会・ドローン物流推進セミナー、  
レンブラントホテル大分、大分市
- 令和元年10月「物流労働生産性の向上を目指して」社会資本整備審・交通  
政策審議会、技術部会、九段第2合同庁舎
- 令和元年11月「物流生産性の向上を目指して～物流対策の推進～」基調講  
演、第33回日本道路会議、都市センターホテル、永田町
- 令和元年11月“Innovative Distribution System Incorporating Cold Chain  
Logistics” International Seminar on Cold Chain Logistics &  
New Standard ISO 23412, JIExpo Kemayoran, Jakarta
- 令和2年1月「コールドチェーン物流サービスの国際標準化」新年特別講  
演会、物流連、第一ホテル東京

## その他の著作・公表物

- 2018年度日本交通政策研究会 研究プロジェクト「道路課金による財源調達、  
交通需要マネジメントに関する研究」報告書
- 2018年度日本交通政策研究会 研究プロジェクト「消費者向け小口貨物輸  
送における「ラストマイル」の多様化に関する研究」報告書
- 「タイ・ミャンマーにおける越境・都市内ロジスティクス環境に関する研  
究」調査報告書

## 学外からの研究助成

- 道路課金と大型車マネジメントに関する研究  
(研究代表者：根本敏則) 日本交通政策研究会 2019年度
- ASEAN時代のロジスティクス構築戦略に関する研究  
(研究分担者：根本敏則) 科学研究費補助金 2019-2021年度
-

馬場 正弘 教授（経済政策，産業政策，日本経済論）

公表された著書・論文等

令和元年12月「産業における共同研究活動と研究開発支出—オープン・イノベーション政策の視点からの実証分析—」『研究論集』第96号，敬愛大学経済学会，pp.115-147.

---

矢口 和宏 教授（公共部門の経済学）

公表された著書・論文等

令和2年3月「東日本大震災の復興・まちづくりの現状と課題—コンパクトシティをまちづくりの中心に—」『改革者 2020.3』pp.48-51.

学会等での活動

【研究会発表】

令和元年6月「コンパクトシティによるまちづくり」ちば産学官連携プラットフォーム研究会（淑徳大学）

【学会セッション座長】

令和元年11月 日本経済政策学会第18回国際会議（中央大学）  
セッション名：Welfare and Social Policy

---

藪内 正樹 教授（中国経済／ビジネス，世界の流通産業，医療と健康の経済，地域企業経営）

公表された著書・論文等

令和2年3月 共同研究報告「医療と地域社会・産業・行政の連携によるまちづくりの可能性と課題に関する研究」敬愛大学総合地域研究（紀要）第10号

令和2年3月 共同研究報告「千葉県・成東地区の体験型ホテル建設プロジェクト地域振興のためのデータ解析、ファイナンスに関する研究」敬愛大学総合地域研究（紀要）第10号

#### 学会等での活動

##### 【中国ビジネス総合研究所で報告】

平成31年3月 「全国人民代表大会、米中貿易交渉」

令和元年5月 「米中、日中の最新情勢」

令和元年6月 「平成を振り返る一日米中関係史」

令和元年9月, 12月 「香港、米中動向」

令和元年12月 「世界の転換期における中国と日本～中国をどう理解し、どう向き合うか」

令和2年1月 「米中関係動向」

##### 【講演】

令和元年11月 日中建築住宅産業協議会第42回講演会「世界の転換期における中国と日本～中国をどう理解し、どう向き合うか」

##### 【シンポジウム・コメンテーター／パネリスト】

令和元年11月 第12回白馬会議「令和日本の青写真を描け」第3セッション「米中超大国間で同バランスをとるか？」川島真東京大学総合文化研究所教授の基調報告に対するコメント

#### その他の著作・公表物

令和2年1月 講演録「世界史の転換期における中国と日本～中国をどう理解し、どう向き合うか」日中建築住宅産業協議会・会報誌 No.243（前編）

令和2年3月 講演録「世界史の転換期における中国と日本～中国をどう理解し、どう向き合うか」日中建築住宅産業協議会・会報誌 No.244（後編）

---

和田 良子 教授（実験経済学・行動ファイナンス）

公表された著書・論文等

令和2年3月 「経営をサービスととらえたクラス別価値創成モデルの検証  
に向けて―共創・創発概念の再考察とコーポレートガバナンス―」 総合地域研究10号

The effect of higher-order risk preferences on altruistic financial choices under uncertainty. 第1回秋季ファイナンス学会 予稿集

学会等での活動

令和元年6月 The effect of higher-order risk preferences on altruistic financial choices under uncertainty. Western Economic Association International (WEAI) San Francisco

令和元年6月 Making ambiguous box affects parameter of ambiguity, WEAI, San Francisco

令和元年9月 Making ambiguous box affects parameter of ambiguity, 2019 European ESA meeting, Dijon, France

令和元年10月 Experimental Analysis of Individual Choice Models Accommodating Risk Valuation, 2019 North American ESA meeting, Los Angeles

令和元年11月 The effect of higher-order risk preferences on altruistic financial choices under uncertainty. 第1回秋季ファイナンス学会

令和元年12月 The effect of higher-order risk preferences on altruistic financial choices under uncertainty. 第23回実験社会科学カンファレンス

令和元年12月 The effect of higher-order risk preferences on altruistic financial choices under uncertainty. 早稲田大学商学部セミナー（招へい）

## 彌島 康朗 特任教授 (Bizキャリア教育)

### 公表された著書・論文等

- 令和元年9月 日本キャリアデザイン学会「リフレクションシートで受講生のインサイトを可視化、情報デザイン力の向上に組んだ実践報告～アクティブラーニング×振り返り記述×テキスト分析AIツール～」(第16回研究大会研究発表要旨集)
- 令和元年9月 私情協 教育イノベーション大会「振り返りでのインサイトを可視化、情報デザイン力の向上に組んだ実践報告」(2019年度私情協 教育イノベーション大会発表用抄録)
- 平成31年3月 大学教育研究フォーラム「アクティブラーニングで受講生のインサイトを測るーテキスト分析×情報活用スキルup 受講生群3年間追跡調査での検証ー(第25回大学教育研究フォーラム発表論文集on line発原稿表アーカイブ)  
<https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/forum/kanri/forum/pdf/20200422162528.pdf>

### 学会等での活動

- 令和元年8月 未来のマナビフェス2019
- 令和元年9月 教育イノベーション大会
- 令和元年9月 キャリアデザイン学会
- 令和2年3月 大学教育研究フォーラム
-

遠藤 貴美子 准教授（経済地理学，工業地理学）

公表された著書・論文等

令和元年6月 「東京を中心とするニット製衣服産業の生産システム」『経済地理学年報』第65巻， pp.151-176.

令和元年7月 小田宏信・遠藤貴美子・藤田和史（2019）「徳島サテライトオフィス・プロジェクトの政策形成とその展開」『成蹊大学経済学部学会』第50巻， pp.29-53.

---

佐竹 恒彦 准教授（地域事業創造論）

公表された著書・論文等

令和元年12月 「アカウンタビリティと経営者のリーダーシップ開発—中小企業再生時の経営理念創成プロセスを中心に—」『研究論集』第96号， 敬愛大学経済学会， pp.49-71.

学会等での活動

令和元年7月 参加：2019年度ARIMASS総会及び講演会（専修大学神田キャンパス）

令和元年8月 研究報告（単独）：「経営者の再生型リーダーシップ開発—中小企業再生時のPDCAと経営理念創成プロセスとの関係から—」経営行動研究学会第29回全国大会（和光大学）

令和元年9月 参加：日本中小企業学会第39回全国大会（愛知学院大学名城公園キャンパス）

令和元年9月 研究報告（単独）：「経営者の再生型リーダーシップ開発と中小企業支援策—中小企業の自力再生時の経営理念創成プロセスとの関係から—」日本地方自治研究学会第36回全国大会（大阪学院大学）

---

## 高岡 英氣 准教授 (スポーツ哲学, スポーツビジネス論)

### 公表された著書・論文等

令和元年6月「障害者雇用に関する概念的考察：目的・技術・仕事・遊戯性」『研究論集』第95号, 敬愛大学経済学会, pp.3-29.

### 学会等での活動

平成31年4月「産業社会における共生のメカニズム：障害者の雇用と『働く』ことの意味」(共同報告者：高木朋代ほか)応用哲学会, 京都大学.

### その他の著作・公表物

平成31年4月「プロフェッショナル競技者の倫理性」日本体育学会体育哲学専門領域会報, 23(3), pp.8-9.

### 学外からの研究助成

科学研究費補助金：基盤研究(A)「高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」[17H01000]  
(研究代表者：高木朋代) 2017年度～2121年度、連携研究者

---

## 八木 直人 准教授 (マクロ経済学)

### 公表された著書・論文等

令和2年3月「訪日外国人の観光消費が千葉県にもたらす経済波及効果」総合地域研究, 第10号.

---

村上 翔一 専任講師（会計学）

公表された著書・論文等

平成31年4月 「保有者における電子マネーの会計処理」『簿記研究』第2巻  
第1号, pp.1-10. 査読付き

その他の著作・公表物

令和元年10月 「まいにち解くのがクセになる7日間計算ドリル」『会計人コ  
ース』中央経済社, 第54巻第13号, pp.12-27.

令和元年10月 「まいにち解くのがクセになる7日間理論ドリル」『会計人コ  
ース』中央経済社, 第54巻第13号, pp.28-35.

令和2年1月 学会展望台国際会計研究学会第36回研究大会『産業経理』第  
79巻第4号, pp.192-193.

令和2年2月 「1問1分で時短復習 簿・財 重要ポイント50」『会計人コ  
ース』中央経済社, 第55巻第3号, pp.13-23.

---

米田 紘康 専任講師（行動経済学・神経経済学）

公表された著書・論文等

平成31年4月 Yamane, S., Yoneda, H. & Tsutsui, Y. “Is irrational thinking  
associated with lower earnings and happiness?”, Mind  
Society, Vol.18, No.1, pp.87-104. （査読付き）

その他の著作・公表物

令和元年度 「輝ける！インターゼミナール大会」論文集

---